



編集・発行 / 厚木市政策部広報課
 〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17
 TEL.046-223-1511(代) FAX.046-223-9951

2015 新年



太陽が昇り始め、徐々に広がる暖かみのある光。厚木のまちに、新たな一日が訪れました。市内には、新春を迎える準備に心を弾ませる人々の姿があります。

厚木市はことし、市制60周年を迎えます。記念すべき年のスタートを祝い、みんなですっきり一年にしましょう。

鷲尾山から望む日の出



緑ヶ丘公民館で開かれた「餅つき教室」に参加する子どもたち



舞台上で舞う「伊勢十二座大神楽獅子舞保存会」



しめ縄飾りで正月の準備



放牧している羊に餌を与える飼い主の河内賢一さん(39・林)

目次 こちらから	2面 新たな奨学金制度を開始 「子どもたちのために」と市に贈られた寄付金を活用し、新たな奨学金制度を始めました。	3面 今をとくめく部活動 多くの生徒たちが心身を磨いている部活動。その中でひとときわ輝き、活躍した二つの部活動を紹介します。	4・5面 新春座談会「夢の舞台へ」 東京オリンピック・パラリンピックを目指し活躍する3人のアスリートが、小林市長に夢を語ります。	6・7面 タウンガイド 催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。
-------------	-------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------



奨学金制度がより充実した教育環境をつくります

トピック

教育支援

生徒の夢の実現を応援 新たな奨学金制度を開始

中学生の進学や高校生の修学などを支援するため、市では新たな奨学金制度を始めます。制度の基となるのは、「子どもたちの未来のために」と市に贈られた寄付金です。温かい善意を活用し、未来を担う子どもたちを応援します。

奨学金は、意欲がありながら、経済的理由で修学などが難しい生徒を支援する制度です。新たな奨学金制度の基となったのは「子どもたちの教育に役立ててほしい」と、市に寄付された1億円です。市では、寄付金の効果的な活用方法を検討。子どもたちを長期的に支援できるように、市内在住の中学・高校生などを対象とした奨学金制度の導入を決めました。

3種類の奨学金

制度は、12月に設立した「久保奨学金基金」で運用します。基金名は、寄付者の名字から名付けました。新たな制度では、入学準備・高校等修学・学校教育活動応援の3種類を用意。勉強だけでなく、部活動などに意欲のある中学生も対象としました。支給額は入学準備が6万円、高校等修学が年額12万円、学校教育活動応援が年額3万円です。今年度はまず、高校などへの進学を目指す中学3年生を対象に、入学準備奨学金と高校等修学奨学金の受け付けを始めます（左欄参照）。奨学金の支給は、教育の有識者らで

組織する奨学生選考委員会の意見を基に、教育委員会が学業成績や意欲、経済的理由などを総合的に判断し決定します。制度では、返済義務のない給付型を採用。多くの奨学金制度で採用している貸与型は卒業後に返済が必要ですが、今回の制度ではその必要はありません。

基金への寄付を

久保奨学金基金には、「未来ある子どもたちが健やかに育つように」という寄付者の思いが込められています。奨学金制度は、基金が続く限り運用されます。未永く制度を続けられるよう、趣旨に賛同していただける多くの皆さんからの寄付をお願いします。

未来を担う子どもたちに

子どもたちの健やかな成長は、みんなの願いです。市では奨学金制度の他にも「高等学校等修学旅行費支援金制度」を実施（左下欄参照）するなど、今後も子どもたちに寄り添った支援を展開していきます。

☎教育総務課 ☎225-2600

久保奨学金基金制度

■入学準備奨学金（6万円）・高校等修学奨学金（12万円）

《対象》①市内在住②学業成績が優秀で、修学の意欲がある③経済的な理由で修学が困難—の全てを満たす中学3年生20人

☑いずれも担任の先生と相談の上、申請書に必要な事項を書き、1月8日～23日に学校に提出してください。詳しくは市ホームページまたは教育総務課 ☎225-2600へ。

■学校教育活動応援奨学金（3万円）※平成27年度から実施

《対象》①市内在住②学校教育活動（部活動など）へ参加の意欲がある③経済的な理由で学校教育活動への参加が困難—の全てを満たす中学生30人程度



厚木市 奨学金 検索 ☎教育総務課 ☎225-2600

高等学校等修学旅行費支援金制度

学校生活の大切な思い出となる修学旅行に多くの生徒が参加できるよう、市では支援を実施しています。

《対象》高校などに在学し、経済的な理由で修学旅行への参加が難しい生徒または保護者

《支給額》2万円（上限）

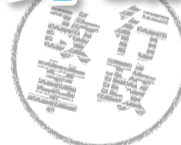
☑学校教育課や公民館、本厚木駅・愛甲石田駅連絡所にある申請書（市ホームページからダウンロード可）に必要な事項を書き、修学旅行参加証明書などを添えて学校教育課へ。申請は、修学旅行の終了後に受け付けます。

☎学校教育課 ☎225-2650

新たな行政改革の指針

第6次行政改革大綱「あつぎ行政経営プラン」を策定

市は、より質の高い行政サービスの提供に向け行政改革（行革）に取り組んでいます。平成26年度は第5次行革の最終年度です。4月から新たに取り組む「あつぎ行政経営プラン」を策定しました。



全国的な少子高齢化の進行や地方分権の動きは、今後も加速していくと見込まれています。市では、このような社会情勢の変化に的確に対応し、効果的な行政サービスの提供を進めていきます。意見交換会やパブリックコメントなどを実施し、市民の皆さんの意見をプランに反映。次の三つを重点目標に定めました。

「あつぎ行政経営プラン」の三つの重点目標

- ①強い組織をつくる
職員の採用や育成などの人的投資を適切に実施。最大限の力を発揮します。
- ②強い財政をつくる
経費削減や市有財産の有効活用などで財源を確保し、適切に管理・運用します。
- ③市民と共に公共サービスを向上させる
市民の皆さんが主体的にまちづくりに参加できる環境を整備します。

行政経営プランの取り組みは6年間です。取り組み状況は、公募の市民や学識経験者で組織される行政改革調査委員会が点検します。点検結果はその都度、市政情報コーナーや市ホームページなどで公開します。



さらに市民参加を進めていきます

☎行政経営課 ☎225-2280

全国大会出場が大きな目標

厚木北高校サッカー部は昨年、全国高校サッカー選手権大会神奈川県予選会に出場し、199校が参加する激戦りの中で決勝戦進出を果たしました。決勝戦では惜しくも0-1で敗れましたが、全国大会への出場はなりませんでしたが、同校史上最高の成績を収めました。

努力の積み重ねが大切

102人の部員を指導するのは、就任7年目の監督・中村元彦先生(43)です。限られた時間の中で、全ての部員とコミュニケーションを取るのには難しいため、試合の感想や戦術上の疑問などが書かれた部員たちのサッカーノートに目を通します。中村先生は全てのノートにアドバイスなどを添えて返答。部員たちは「迷わず練習に打ち込める」と口をそろえます。

「全国大会出場が目標だが、結果が全てではない」と強調する中村先生。「目標に向かって努力や工夫を積み重ねることが何よりも大切。その過程で

立派な大人へと成長してほしい」と愛情を持って接しています。

部活動が成長の糧に

これまで攻撃重視だった厚木北高校サッカー部。昨年は守備力を強化しようとしてチーム全体が意識しました。「夢を叶えるためには、好きなことだけでなく苦手分野も克服しなければならぬ」。そう話すのは、主将の久保田永至さん(3年)。苦楽を共にした部員たちを見ながら「サッカーを通して、みんなで同じ意識を持ってまとまることの大切さを学んだ」と振り返ります。

「準優勝はうれしい結果だが、達成できなかった全国大会出場は目標は、後輩たちに託したい」と悔しさをにじませる久保田さん。「3年生は卒業後、別々の道を歩む。それぞれが新しい夢に向かって一つ一つを丁寧に取り組んでいきたい」と前向きに話します。部活動で得た経験を糧に、部員たちは新たな輝きを放っています。



《部活動紹介》 部員数102人。監督1人、コーチ6人、トレーナー2人。神奈川県U-18サッカーリーグ1部に所属。平成26年の第93回全国高校サッカー選手権大会神奈川県予選会で準優勝。

くめきとを今 部活動

市内の学校には、スポーツや文化など多彩な分野の部活動があり、多くの生徒たちが日々の活動を通して心身を磨いています。その中でもひとときわ輝き、活躍した二つの部活動を紹介します。

感動を呼ぶ演奏をしたい



小鮎中学校 吹奏楽部

《部活動紹介》 部員数32人。顧問2人、部活動指導協力者2人。平成26年の第15回県央・第63回神奈川県・第20回東関東吹奏楽コンクール中学校の部B部門ですべて金賞を受賞。

小鮎中吹奏楽部は昨年、東関東吹奏楽コンクールに出場しました。エントリリーした部門は、30人以内の編成で演奏する「中学校の部B部門」です。県央大会、県大会とも金賞を受賞し、順当に上位大会の代表に選出されました。惜しくも東日本大会への出場権は得られませんでした。東関東大会で2年連続となる金賞を獲得しました。

部員が一つになって

部員数は3年生が12人、2年生5人、1年生15人。大会に出場する30人のうち13人を1年生から起用する必要がありました。新人の育成が重要な課題となる中、「3年生が中心となり、自分たちの技術面以上に後輩たちの育成に力を入れてくれた」と顧問の大西義文先生(29)は目を細めます。

土日も休まず活動し、他校に負けな練習量をこなす部員たち。途中であきらめたり辞めたりする部員はなく、全員が楽しみながら集中して活動を

続けています。

生活面の向上も重要な活動

部では、技術面の向上だけでなく、日頃のあいさつや時間厳守の習慣、練習前後の部屋の掃除など、生活面の向上にも取り組んでいます。3年生が引退し、新たに部長になった山田雪雄さん(2年)は「何でも目標を持ってやるのが大切」と意欲を見せます。「自分たちが活動できるのは、家族や先生など周囲の支えがあってこそ」と感謝の気持ちも忘れません。

部の活動目標は「感動を呼ぶ演奏」をすること。そのために技術や心身を磨きます。「僕たちはまだまだ未熟ですが、先輩たちを追い越せるように練習していきたい。そして、先輩たちから教わってきたことを、下級生にもつないでいきたい」と山田さんは目を輝かせます。「東日本大会」を目標に、新体制での活動を始めた小鮎中吹奏楽部。今後の活躍に期待が膨らみます。



Momoko Suzuki
鈴木 百萌子 さん (26)
 小船中学校卒。2011年、交通事故で片足を失うが、リハビリを通して車いすスポーツと出会う。県障害者スポーツ大会100mで2年連続優勝、14年全国障害者スポーツ大会投てきで金メダル、100mで銀メダルなど。車いすバスケットボールチーム「ウイング」に所属。昨年11月、自身の半生をつづった著書出版。

スポーツへの関心はますます高まっています。今回の座談会では、夢の舞台を目指して厚木から羽ばたいていく若きアスリートを迎え、小林常良市長がその意気込みを伺います。

スポーツは、何歳から始めても大きな舞台に出られる可能性が十分にあるところも魅力です。

高橋 苦しいことやつらいこともありますが、目標が達成できた時などに、今まで知らなかった自分の可能性に出合えて、充実感を得られます。

望月 一番の魅力は、楽しいことです。ただ、競技には生活習慣が求められます。うまくこなせているときは、ちゃんと生活のリズムができています。市長 それは素晴らしいですね。私も見習いたいと思います。

苦しみからの成長
市長 皆さんの人生を豊かにしているスポーツですが、これまでうまくいかずに苦しんだことはありませんか。
鈴木 事故から立ち直るまでは、泣きながらリハビリをさせていただきました。競技を始めてからはまだ日が浅いこともあり、楽しいことばかりです。
高橋 高校から大学、大学から社会人という節目にスランプに陥りました。生活環境の変化によるストレスがプレーにも影響し、信じられないくらい成績が落ちてしまいました。ただ、変化を恐れて同じ練習を繰り返すばかりでも集中力が下がりが成長しないので、周りに相談したり自分で工夫したりして新しい刺激を入れていきます。

望月 一番苦しかったのは一年生の時です。インターハイに出場させてもらったのに、手も足も出ず自分のせいで負けてしまったような状況でした。国体でも観戦時間の方が長くて、バスケットがつまらなくなってしまった時期がありました。そこで自分を見つめ直して、いろいろな人に技術を教えてもらいに行きました。中には、叱ってくれた人もいました。そうやって基礎から見直したことで、一段階成長できたかなと思います。

5年後に向けて
市長 東京パラリンピックに向けて障がい者スポーツに関心が高まる中、鈴木さんの活躍は、障がいのある方の大きな励みになっていると思います。障がい者スポーツを発展させる上で、感じていることなどはありますか。
鈴木 国体出場の際、レース用の車いすが借りられず、普段の車いすで行く場になりました。周りの選手はみんな三輪のレーサー車で「同じ車いすなら絶対負けなかった」と、すごく悔しい思いをしました。器具や設備が充実すれば、障がい者スポーツをやってみようと思う人はもっと増えると思います。私はパラリンピック出場にはまだまだですが、男子にも負けたくないという気持ちで練習に励んでいます。国体でも、絶対負けたくないという気持ちで挑んだら、

フル射撃を始めたのですが、競技で大切なことは何ですか。
高橋 集中と平常心です。緊張すると心臓の鼓動で銃も一緒に揺れてしまうので、深呼吸などで状態を整えます。練習でうまくいき自信を持って臨んでも、試合では全く思うようにならないときもあります。集中力が緊張感を超えて、周囲が気にならないくらい自分の世界に入り込める時があり、そういったときはすごく良いパフォーマンスができます。

市長 望月さんは、181cmという長身で、バスケットボール向きの体格ですね。どんなところが面白いですか。
望月 オフェンスとディフェンスの駆け引きです。攻守が瞬時に変わるのを、瞬間的に感じ取らなくてははいけません。一歩の動きにまで細かいフェイントが入っていて、スピードい展開が続くところが面白いです。

スポーツの魅力
市長 皆さん、競技と向き合っていると心から楽しんでいるんですね。皆さんにとって、スポーツの魅力とは何でしょうか。
鈴木 体が健康になるのはもちろん、練習や合宿を通してメンタルがとて鍛えられます。全国に仲間ができて視野が広がり、自分らしく生きられるようになったと思います。障がい者自己タイムを大幅に更新できました。

市長 高橋さんと望月さんは東京オリンピックにどんな思いがありますか。
高橋 社会人になり練習量が減る中で、いつまで競技を続けられるだろうと考えていました。でも、2020年の開催地が東京が決まった瞬間「やるしかない」と、迷いが吹っ切れました。人生を変えた瞬間でした。一つまみの人しか立てない舞台ですが、それを目指すことは自分の中で大きな糧になると思います。みんなの気持が高まっている中で、あと5年を過ごせることはすごく幸せです。

望月 自分の技術はまだまだです。東京開催が決まったときは「世界と戦える」と意気込みましたが、5年後はまだ大学生。その歳の中で日本一うまい選手にならなければ、出場はできないと思っています。今の自分をどれだけ高められるかに集中することが大事だと思います。

市長 皆さんには輝かしい未来があります。希望を持ちながら活躍する姿は、たくさんの人にスポーツの素晴らしさを伝えることでしょうか。まずは自分の直面していることに一生懸命取り組んで、どんどん格好良くなってください。応援しています。ありがとうございます。

鈴木・高橋・望月 ありがとうございます。



Daichi Mochizuki
望月 大地 さん (17)
 厚木東高校男子バスケットボール部所属。2年生ながら、チームの司令塔である「ポイントガード」として活躍。部は2013年に県大会優勝、インターハイで全国ベスト16。14年は県大会準優勝、インターハイ県予選でベスト8を果たす。チームでの活躍が認められ、U-18日本代表候補入り。現在、選考を兼ねた合宿に参加中。

2015 新春座談会

夢の舞台へ



市長 明けましておめでとうございませう。市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。さて、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催まであと5年となりました。市では、健康増進のための「一市民一スポーツ運動」やトップアスリート育成を目指す「あつぎスポーツアカデミー」など、スポーツ愛好者の拡大や競技力向上に力を入れています。本日は、スポーツの世界で夢と希望にあふれる3人に、お話を伺いたいと思います。

競技への思い
市長 鈴木さんは、車いすスポーツの世界で活躍していますが、競技との出会いをお聞かせください。
鈴木 事故のリハビリを通じて、一年前に車いすバスケットボールと出合いました。すごい迫力で最初は怖かったですが、格好良さで憧れて始めてみたのがきっかけです。
市長 昨年は、陸上競技で優秀な成績を取っていますね。
鈴木 今はバスケットが中心ですが、大会に出たのは陸上からです。バスケットで初めて団体競技と出会い、みんなで勝った時のうれしさや、思いを分かち合う喜びを知りました。

市長 高橋さんは高校在学中にライフル射撃を始められたそうですが、競技で大切なことは何ですか。
高橋 集中と平常心です。緊張すると心臓の鼓動で銃も一緒に揺れてしまうので、深呼吸などで状態を整えます。練習でうまくいき自信を持って臨んでも、試合では全く思うようにならないときもあります。集中力が緊張感を超えて、周囲が気にならないくらい自分の世界に入り込める時があり、そういったときはすごく良いパフォーマンスができます。

市長 望月さんは、181cmという長身で、バスケットボール向きの体格ですね。どんなところが面白いですか。
望月 オフェンスとディフェンスの駆け引きです。攻守が瞬時に変わるのを、瞬間的に感じ取らなくてははいけません。一歩の動きにまで細かいフェイントが入っていて、スピードい展開が続くところが面白いです。

スポーツの魅力
市長 皆さん、競技と向き合っていると心から楽しんでいるんですね。皆さんにとって、スポーツの魅力とは何でしょうか。
鈴木 体が健康になるのはもちろん、練習や合宿を通してメンタルがとて鍛えられます。全国に仲間ができて視野が広がり、自分らしく生きられるようになったと思います。障がい者



Yuki Takahashi
高橋 由希絵 さん (24)
 厚木中学校卒。株式会社永谷園勤務。海老名高校在学中から射撃を始める。2009年新潟国体で、成年女子チームライフル射撃60発競技優勝、立射40発競技2位。12年全国学生選手権50m伏射60発競技2位、ワールドカップ出場。13年全国社会人選手権50m伏射60発競技優勝、14年同選手権100m立射40発競技優勝など。

初心者柔道教室

2月8・15・22日（全3回）、9時30分～11時30分。東町スポーツセンター。基礎技術の講習。市内在住勤在学で4歳以上の方50人。800円。☎ハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を書き、1月15日（必着）までに〒243-0039 温水西1-27-1市体育協会 ☎247-7212・☎248-7151へ。抽選。☎141601

資産運用セミナー

2月5日、19時～20時30分。野村証券株式会社厚木支店（中町2-2-20）。少額投資非課税制度「NISA」の講義など。市内在住勤在学で20歳以上の方20人。無料。筆記用具をお持ちください。☎電話またはファクスに講座名、氏名、年齢、電話番号を書き、1月23日までに勤労者福祉サービスセンター ☎206-4151・☎206-4611へ。抽選。

孫育て教室

1月25日、10時～11時30分。保健センター。「家族で楽しく子育て、孫育て」がテーマの講義やグループワークなど。市内在住で孫がいる方または生まれる予定の方50人（家族での参加も可）。無料。☎1月23日までに健康づくり課 ☎225-2597へ。先着順。☎141559

トマトカフェ

①2月1日 ②2月15日、13時30分～15時。神奈川工科大学ITビル（中町3-3-17）。ティータイムを楽しみながらトマトについて学ぶ。定員30人。200円（ドリンク代）。☎電話またはファクスに参加希望日、氏名、連絡先を書き、①1月30日②2月13日までにNPO法人くらしとバイオプラザ21 ☎03-5651-5810・☎03-3669-7810へ。抽選。

厚木海老名愛川清川30歳成人式の参加者を募集

2月22日、15時～18時。レンブラントホテル厚木（中町2-13-1）。成人式から10年を迎える人が一堂に会して30歳を祝う。昭和59年4月2

日～昭和60年4月1日生まれの方。☎エントリーフォーム（http://goo.gl/forms/AoHRzQQaCc）で受け付け。☎30歳成人式実行委員会・野田 ☎070-6513-2782。

児童館指導員（臨時職員）を募集

《対象》18歳～65歳の健康で子どもの健全育成に熱意のある方若干名《内容》児童館を利用する子どもの指導と育成、施設管理など《勤務場所》市内児童館（37館の中から通勤できる範囲内で指定）《勤務時間》月15日程度で①10時～17時②13時～17時（通常1人勤務でローテーション）《期間》4月1日～9月30日（更新可）《賃金》時給940円（土・日曜、祝日は1269円）。☎市販の履歴書に写真を貼り、1月30日（必着）までに直接または郵送で〒243-0018中町1-1-3 青少年課 ☎225-2581へ。2月5・6日のいずれかに面接を実施予定。

放送大学4月生募集

放送大学は、テレビなどの放送やインターネットを利用して授業を実施する通信制の大学です。平成27年度第1学期（4月入学）の学生を募集しています。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。出願期間は3月20日まで。資料請求は無料。☎放送大学神奈川学習センター ☎045-710-1910。

県立職業技術校4月生後期入校生募集

■東部総合職業技術校（かなテクカレッジ東部 ☎045-504-2810）①若年者向けコース（有料）＝自動車整備、マシニング&CAD/CAM、建築設計、造園など全7コース②離転職者向けコース（無料）＝機械CAD、庭園管理サービス（新設）、ケアワーカー、給食調理など全9コース■西部総合職業技術校（かなテクカレッジ西部 ☎0463-80-3002）①若年者向けコース（有料）＝電気、ICTエンジニア、木材加工、室内設計施工など全7コース②離転職者向けコース（無料）＝建築CAD、溶接・板金、庭園エクステリ

あつぎ 元気Wave

ケーブルテレビ

あゆチャンネル(11ch)

放送時間(15分)

1月の広報番組ガイド

1月1日～15日 ◆厚木のイチゴはおいしいよ旬を迎えた市内産のイチゴの出来映えなどをレポート

①12時～②19時30分～③22時45分～ ※内容や時間を変更する場合があります。

番組はホームページ動画配信 あつぎ元気Wave 検索 CATV放送開始後に配信

ア施工、介護調理など全8コース《対象》就職するために知識や技術、技能を習得したい方《選考日》2月15日《募集案内》各技術校・ハローワークで配布。☎ハローワークで事前に手続きし、1月5日～2月2日に各校へ。1月17日にかながわ県民センターで募集説明会を実施。☎県産業人材課 ☎045-210-5715。

本厚木駅南口地区市街地再開発事業などの説明会

1月15日、19時～。市役所本庁舎。本厚木駅南口地区第一種市街地再開発事業などの都市計画案の作成に向けた住みよいまちづくり条例に基づく住民説明会。☎当日直接会場へ。☎都市計画課 ☎225-2401。

住宅賃貸トラブル予防電話相談

3月18日までの毎週水曜(2月11日は除く)。13時～16時。敷金、更新料、原状回復など住宅賃貸トラブル予防の相談に行政書士が対応。無料。☎民間賃貸住宅に関する無料電話相談 ☎045-641-9171へ。☎県行政書士会 ☎045-641-0739。

本人通知制度

住民票の写しなどの不正請求・取得を防ぐため、1月から本人通知制度を実施します。事前に登録した方の住民票の写しや戸籍謄本などを代理人や第三者に交付したとき、交付した事実を本人に通知する制度です。不正取得が判明した場合は、登録の有無に関わらず通知します《登録できる方》①市に住民基本台帳または戸籍の附票に記録（除かれた人も含む）②市が作成した戸籍に記載（除かれた人も含む）一のいずれかを満たす方。ただし、死亡または失踪宣告を受けた方は登録できません《登

録に必要なもの》①申請書（窓口で配布）②窓口に来る方の本人確認書類（運転免許証など）またはその他の証明書③代理人の場合は委任状④法定代理人の場合は、戸籍謄本などの資格を証する書類。☎市民課 ☎225-2110。

みんなの声でつくるまち

《意見交換会》

■公共施設最適化基本計画

1月18日、10時～11時30分。市役所本庁舎。☎当日直接会場へ。☎企画政策課 ☎225-2450。

《パブリックコメント》

■情報化推進計画

《閲覧期間》1月5日～2月4日。☎〒243-8511情報政策課 ☎225-2459・☎225-3732・e-mail = 1300@city.atsugi.kanagawa.jp

■環境基本計画・一般廃棄物処理基本計画の改定

《閲覧期間》1月5日～2月4日。☎〒243-8511環境政策課 ☎225-2749・☎223-1668・e-mail = 3100@city.atsugi.kanagawa.jp

いずれも閲覧場所は、各課窓口、市政情報コーナー、あつぎ市民交流プラザ、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、総合福祉センター、中央図書館、市ホームページなど。応募資格は、市内在住勤在学の方または市内で活動する個人・法人・団体。応募方法は、閲覧場所にある用紙を備え付けの「わたしの提案」箱に投函するか、直接または郵送、ファクス、Eメールで問い合わせ先へ。

あつぎ健康相談ダイヤル24

健康相談・医療機関情報（救急含む）

さわやか1番 よいところ

☎0120-31-4156

◎発信者番号は通知設定でおかけください

地元で働こう 市の就職支援

市では合同就職面接会やセミナーなどを実施し、就職を希望する若者を支援しています。ぜひご利用ください。☎産業振興課 ☎225-2585

■合同就職面接会

《日時》2月5日 12時30分～16時

《場所》厚木商工会議所

《内容》市内と近隣企業による就職面接会（カウンセラーによる個別相談あり）

《対象》市内または周辺地域在住の39歳までの一般求職者。学生は平成27年3月卒業予定の方（中学生を除く）。必ず面接希望企業数分の履歴書などをお持ちください。参加企業は、1月23日頃から産業振興課や市ホームページで公開。☎当日直接会場へ。



●合同就職面接会直前セミナー

《日時》2月4日 9時30分～16時30分《内容》面接会などのためのマッチングを促進するため、業界研究や応募書類の作成・模擬面接など《対象》39歳までの方30人

◆若者・企業交流イベント「厚木ジョブトーク！」

《日時》1月30日 ①9時30分～12時30分②13時30分～16時30分《内容》①企業研究と交流会準備セミナー②企業との交流を通して相互理解を深めるイベント《対象》39歳までの方40人

いずれも会場は厚木商工会議所。☎●印は2月2日、◆印は1月28日までに電話またはファクスで若年者就職支援プログラム事業事務局 ☎045-316-5831・☎045-316-5832へ。抽選（落選者のみ連絡）。



インターネットモニターからの意見を紹介

ホットメール

Hot E Mail

12月1日号「広報あつぎ」を読んで◆単発企画に終わることなく、国際交流を続けてほしい／60代男性・南町◆ゼロエネハウスの機器の設置費用が分かるとよかった／60代男性・栄町◆スマホを操作したり音楽を聴いたりしながら通行するのはやめようと思った／20代女性・元町◆親の私たちも目を光らせて、地域全体で子どもたちを守っていかねばと思った／40代女性・愛甲◆あゆコロちゃん3年連続トップ10入りしてうれしい／20代女性・山際

厚木市 インターネットモニター結果

検索

初心者柔道教室

2月8・15・22日（全3回）、9時30分～11時30分。東町スポーツセンター。基礎技術の講習。市内在住勤在学で4歳以上の方50人。800円。☎ハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を書き、1月15日（必着）までに〒243-0039 温水西1-27-1市体育協会 ☎247-7212・☎248-7151へ。抽選。☎141601

資産運用セミナー

2月5日、19時～20時30分。野村証券株式会社厚木支店（中町2-2-20）。少額投資非課税制度「NISA」の講義など。市内在住勤在学で20歳以上の方20人。無料。筆記用具をお持ちください。☎電話またはファクスに講座名、氏名、年齢、電話番号を書き、1月23日までに勤労者福祉サービスセンター ☎206-4151・☎206-4611へ。抽選。

孫育て教室

1月25日、10時～11時30分。保健センター。「家族で楽しく子育て、孫育て」がテーマの講義やグループワークなど。市内在住で孫がいる方または生まれる予定の方50人（家族での参加も可）。無料。☎1月23日までに健康づくり課 ☎225-2597へ。先着順。☎141559

トマトカフェ

①2月1日 ②2月15日、13時30分～15時。神奈川工科大学ITビル（中町3-3-17）。ティータイムを楽しみながらトマトについて学ぶ。定員30人。200円（ドリンク代）。☎電話またはファクスに参加希望日、氏名、連絡先を書き、①1月30日②2月13日までにNPO法人くらしとバイオプラザ21 ☎03-5651-5810・☎03-3669-7810へ。抽選。

厚木海老名愛川清川30歳成人式の参加者を募集

2月22日、15時～18時。レンブラントホテル厚木（中町2-13-1）。成人式から10年を迎える人が一堂に会して30歳を祝う。昭和59年4月2

日～昭和60年4月1日生まれの方。☎エントリーフォーム（http://goo.gl/forms/AoHRzQQaCc）で受け付け。☎30歳成人式実行委員会・野田 ☎070-6513-2782。

児童館指導員（臨時職員）を募集

《対象》18歳～65歳の健康で子どもの健全育成に熱意のある方若干名《内容》児童館を利用する子どもの指導と育成、施設管理など《勤務場所》市内児童館（37館の中から通勤できる範囲内で指定）《勤務時間》月15日程度で①10時～17時②13時～17時（通常1人勤務でローテーション）《期間》4月1日～9月30日（更新可）《賃金》時給940円（土・日曜、祝日は1269円）。☎市販の履歴書に写真を貼り、1月30日（必着）までに直接または郵送で〒243-0018中町1-1-3 青少年課 ☎225-2581へ。2月5・6日のいずれかに面接を実施予定。

放送大学4月生募集

放送大学は、テレビなどの放送やインターネットを利用して授業を実施する通信制の大学です。平成27年度第1学期（4月入学）の学生を募集しています。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。出願期間は3月20日まで。資料請求は無料。☎放送大学神奈川学習センター ☎045-710-1910。

県立職業技術校4月生後期入校生募集

■東部総合職業技術校（かなテクカレッジ東部 ☎045-504-2810）①若年者向けコース（有料）＝自動車整備、マシニング&CAD/CAM、建築設計、造園など全7コース②離転職者向けコース（無料）＝機械CAD、庭園管理サービス（新設）、ケアワーカー、給食調理など全9コース■西部総合職業技術校（かなテクカレッジ西部 ☎0463-80-3002）①若年者向けコース（有料）＝電気、ICTエンジニア、木材加工、室内設計施工など全7コース②離転職者向けコース（無料）＝建築CAD、溶接・板金、庭園エクステリ

あつぎ 元気Wave

ケーブルテレビ

あゆチャンネル(11ch)

放送時間(15分)

1月の広報番組ガイド

1月1日～15日

◆厚木のイチゴはおいしいよ旬を迎えた市内産のイチゴの出来映えなどをレポート

①12時～②19時30分～③22時45分～

※内容や時間を変更する場合があります。

番組はホームページ動画配信

あつぎ元気Wave

検索

CATV放送開始後に配信

ア施工、介護調理など全8コース《対象》就職するために知識や技術、技能を習得したい方《選考日》2月15日《募集案内》各技術校・ハローワークで配布。☎ハローワークで事前に手続きし、1月5日～2月2日に各校へ。1月17日にかながわ県民センターで募集説明会を実施。☎県産業人材課 ☎045-210-5715。

本厚木駅南口地区市街地再開発事業などの説明会

1月15日、19時～。市役所本庁舎。本厚木駅南口地区第一種市街地再開発事業などの都市計画案の作成に向けた住みよいまちづくり条例に基づく住民説明会。☎当日直接会場へ。☎都市計画課 ☎225-2401。

住宅賃貸トラブル予防電話相談

3月18日までの毎週水曜(2月11日は除く)。13時～16時。敷金、更新料、原状回復など住宅賃貸トラブル予防の相談に行政書士が対応。無料。☎民間賃貸住宅に関する無料電話相談 ☎045-641-9171へ。☎県行政書士会 ☎045-641-0739。

本人通知制度

住民票の写しなどの不正請求・取得を防ぐため、1月から本人通知制度を実施します。事前に登録した方の住民票の写しや戸籍謄本などを代理人や第三者に交付したとき、交付した事実を本人に通知する制度です。不正取得が判明した場合は、登録の有無に関わらず通知します《登録できる方》①市に住民基本台帳または戸籍の附票に記録（除かれた人も含む）②市が作成した戸籍に記載（除かれた人も含む）一のいずれかを満たす方。ただし、死亡または失踪宣告を受けた方は登録できません《登

録に必要なもの》①申請書（窓口で配布）②窓口に来る方の本人確認書類（運転免許証など）またはその他の証明書③代理人の場合は委任状④法定代理人の場合は、戸籍謄本などの資格を証する書類。☎市民課 ☎225-2110。

みんなの声でつくるまち

《意見交換会》

■公共施設最適化基本計画

1月18日、10時～11時30分。市役所本庁舎。☎当日直接会場へ。☎企画政策課 ☎225-2450。

《パブリックコメント》

■情報化推進計画

《閲覧期間》1月5日～2月4日。☎〒243-8511情報政策課 ☎225-2459・☎225-3732・e-mail = 1300@city.atsugi.kanagawa.jp

■環境基本計画・一般廃棄物処理基本計画の改定

《閲覧期間》1月5日～2月4日。☎〒243-8511環境政策課 ☎225-2749・☎223-1668・e-mail = 3100@city.atsugi.kanagawa.jp

いずれも閲覧場所は、各課窓口、市政情報コーナー、あつぎ市民交流プラザ、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、総合福祉センター、中央図書館、市ホームページなど。応募資格は、市内在住勤在学の方または市内で活動する個人・法人・団体。応募方法は、閲覧場所にある用紙を備え付けの「わたしの提案」箱に投函するか、直接または郵送、ファクス、Eメールで問い合わせ先へ。

あつぎ健康相談ダイヤル24

健康相談・医療機関情報（救急含む）さわやか1番 よいところ

☎0120-31-4156

◎発信者番号は通知設定でおかけください

地元で働こう 市の就職支援

市では合同就職面接会やセミナーなどを実施し、就職を希望する若者を支援しています。ぜひご利用ください。☎産業振興課 ☎225-2585

■合同就職面接会

《日時》2月5日 12時30分～16時

《場所》厚木商工会議所

《内容》市内と近隣企業による就職面接会（カウンセラーによる個別相談あり）

《対象》市内または周辺地域在住の39歳までの一般求職者。学生は平成27年3月卒業予定の方（中学生を除く）。必ず面接希望企業数分の履歴書などをお持ちください。参加企業は、1月23日頃から産業振興課や市ホームページで公開。☎当日直接会場へ。



●合同就職面接会直前セミナー

《日時》2月4日 9時30分～16時30分《内容》面接会などのためのマッチングを促進するため、業界研究や応募書類の作成・模擬面接など《対象》39歳までの方30人

◆若者・企業交流イベント「厚木ジョブトーク！」

《日時》1月30日 ①9時30分～12時30分②13時30分～16時30分《内容》①企業研究と交流会準備セミナー②企業との交流を通して相互理解を深めるイベント《対象》39歳までの方40人

いずれも会場は厚木商工会議所。☎●印は2月2日、◆印は1月28日までに電話またはファクスで若年者就職支援プログラム事業事務局 ☎045-316-5831・☎045-316-5832へ。抽選（落選者のみ連絡）。



インターネットモニターからの意見を紹介

ホットメール

Hot E Mail

12月1日号「広報あつぎ」を読んで◆単発企画に終わることなく、国際交流を続けてほしい／60代男性・南町◆ゼロエネハウスの機器の設置費用が分かるとよかった／60代男性・栄町◆スマホを操作したり音楽を聴いたりしながら通行するのはやめようと思った／20代女性・元町◆親の私たちも目を光らせて、地域全体で子どもたちを守っていかなければと思った／40代女性・愛甲◆あゆコロちゃん3年連続トップ10入りしてうれしい／20代女性・山際

厚木市 インターネットモニター結果

検索

248-4708へ。抽選。☎141618

人権シンポinかながわ2015

1月24日、10時～18時。横浜市開港記念会館。消費者教育に関するシンポジウムや取り調べの可視化に関するパネルディスカッション、ヘイトスピーチ・障がい者雇用の取り組みに関する講演など。無料。☎当日直接会場へ。☎横浜弁護士会☎045-211-7705。

市制60周年記念講演会「どうなる日本の政治と経済」

2月26日、15時30分～17時。文化会館。ジャーナリスト・橋本五郎さんによる講演。市内在住在勤在学の方1400人。無料。☎ハガキ、ファクス、Eメールに代表者氏名、〒住所、電話番号、人数、託児の有無（対象は1歳～小学3年生。希望者は子どもの氏名、ふりがな、年齢を記入）、手話通訳の有無を書き、2月16日（必着）まで（託児を利用する方は2月9日まで）に産業振興課☎225-2830・FAX 223-7875・e-mail=3900@city.atsugi.kanagawa.jpへ。先着順。☎141570



人権フォーラムかながわ21

1月24日、12時15分～16時30分。文化会館。「大切なあなたへ～私にできること、私たちにできること～」をテーマにした映画上映や障がい者施設利用者による音楽演奏、講演など。定員350人。無料。手話通訳・要約筆記あり。☎電話またはファクスでかながわ共同会☎265-0035・FAX 265-0036へ。先着順。

小児・乳児への応急手当 普通救命講習会

2月6日、13時30分～16時30分。消防本部。応急手当での必要性、小児・乳児への心肺蘇生、大出血時の止血法、自動体外式除細動器（AED）の取り扱いなど。市内在住在勤在学の中学生以上の方30人。無料。託児あり（定員6人）。☎1月15日までに救急救命課☎223-9365へ。抽選。☎130880

防火管理資格取得等講習（甲種・乙種）

2月12・13日（全2回）、9時～17時。北消防署睦合分署（三田1475-1）。市内在住在勤の方70人。4650円（テキスト代）。☎6カ月以内に撮影した縦4寸×横3寸の写真（無背景、無帽、正面、上半身）の裏面に氏名を書き、申込書を添えて1月6日～9日に直接、予防課☎223-9370へ。先着順。

市民防災研修会

1月17日、10時～12時。文化会館。「防災とボランティア週間」（1月15日～21日）に合わせ、防災の知識を学ぶ。定員1400人。無料。☎当日直接会場へ。先着順。☎危機管理課☎225-2190。

話し方講座「話力を身につけ職場で地域で実力発揮」

2月14日、10時～16時。あつぎ市民交流プラザ。仕事、家庭、地域などで思いや意見を上手に話す力と聞く力を習得し、コミュニケーション能力を高める。市内在住在勤在学の方30人。無料。託児あり（要予約。1歳～小学3年生）。☎直接、電話またはハガキに〒住所、氏名、電話番号、託児の有無を書き、1月29日（必着）までに人権男女参画課☎225-2454へ。抽選。☎141171

消費者問題講演会

1月26日、13時30分～15時。厚木商工会議所。「どう選ぶ有料老人ホーム～後悔しない契約のポイント～」がテーマの講演。定員100人。無料。☎1月23日までに消費生活センター☎225-2155へ。抽選。☎141592

レベルアップソフトボール教室

2月8日、9時～15時。及川球技場（及川1-17-1）。初・中級者向け技術講習。市内在住在勤在学の小中学生以上の方150人。500円。☎ハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を書き、1月15日（必着）までに〒243-0039温木西1-27-1市体育協会☎247-7212・FAX 248-7151へ。抽選。☎141600

タウンガイド

1月							2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31							

マイタウンクラブ
印の番号でウェブ上からも、詳しい情報をご覧いただけます。「☎」と記されたものは、ウェブ上から申し込みができます。
www.mytownclub.com
[携帯電話は末尾に/cpを]

市制60周年カウントダウン事業

1月の青春劇場

17日＝唄う！青春劇場カラオケ大会（ゲスト・宮川たかし）。15時～16時。アミューあつぎ9階。定員100人。入場料500円。17日＝楽しい仲間たち新春ライブ。13時30分～16時。あつぎ市民交流プラザ。オカリナアンサンブル、歌などで新春を祝う。定員100人。無料。24日＝あつぎ青春劇場落語会（出演・柳家花いち、柳小夏）。11時～12時30分。アミューあつぎ9階。定員100人。入場料500円。☎当日直接会場へ。☎商業にぎわい課☎225-2840。

あつぎいちごフェア

1月15日、9時30分～。夢未市（温水255）。イチゴの即売会、食べ比べ、品評会など。☎当日直接会場へ。☎農業政策課☎225-2801。

第4回学校給食展「パクパク学校給食展」

1月17・18日、10時～15時（18日は14時30分まで）。あつぎ市民交流プラザ。学校給食に関する展

示やクイズ、クリームシチューの試食など。☎当日直接会場へ。☎保健給食課☎225-2668。

第4回天体観望会「アンドロメダ銀河」

2月6日、18時30分～20時30分。七沢自然ふれあいセンター（七沢2440）。天体望遠鏡で星を観察。小学生以上の方40人（中学生以下は保護者同伴）。無料。☎直接、電話またはファクスに〒住所、参加者全員の氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を書き、1月23日までに七沢自然ふれあいセンター☎248-3500・FAX 248-4708へ。抽選（市内在住の方を優先）。☎141617

第3回原始体験教室

2月7日、9時～15時。七沢自然ふれあいセンター（七沢2440）。火おこしやたき火クッキングなど。市内在住の親子50人。1000円。☎直接、電話またはファクスに教室名、〒住所、氏名、大人・子どもの人数、電話番号を書き、1月23日までに七沢自然ふれあいセンター☎248-3500・FAX

消防出初め式

新春恒例

《日時》
1月11日（日） 10時～

《会場》
荻野運動公園 駐車場
（中荻野1500）※荒天時は屋内で実施

《内容》
古式消防保存会のまとい振り込み、はしご乗り、消防部隊などによる消防演技、市内事業所・消防団による消火演技、一斉放水など。
※当日は7時にサイレンが鳴りますが、火災とお間違いのないようお願いいたします。



伝統の妙技「はしご乗り」を披露

☎警防課☎223-9368

成人式「はたちのつどい」 「感謝～今伝えたい想い～」

《日時》 1月12日（月・祝） 11時～12時
（10時15分～受け付け）

《会場》 文化会館

《内容》



2400人の新成人が気持ちを新たに

☎青少年課☎225-2580

議会改革のさらなる推進のために



厚木市会議長 石井 芳隆

市民の皆さま、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。日ごろから、議会運営に対してご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

今、地方議会は、地方分権の進展により、市民に一番身近な議会として、果たすべき役割がますます重要になっています。厚木市議会では、議会改革に積極的に取り組み、全国的にも例の少ない通年会期制を1月から導入します。これによって、議会の閉会期間がなくなり、常に議会が開ける状態になりますので、より迅速

に議案審議などを進められます。

この他、議会改革の取り組みとして公民館などで開催している議会報告会では、市民の皆さまと直接お話をさせていただく機会を設けることができました。

また、昨年10月には、私から議会運営委員会に「議会基本条例の策定について(必要性並びにその内容)」「(仮称)議会災害時条例の策定について」などの6項目を諮問し、検討を進めているところです。

ことは、厚木市にとって市制60周年となる記念の年です。安心、安全で活力と思いやりのある、より豊かな地域社会が実現するよう、市行政と共に全力を尽くしていきますので、皆さまのなご一層のご支援とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとってより実り多き年であるとともに、皆さまのご健勝を祈念して新年のあいさつとさせていただきます。



南毛利地区

大縄引きフエスティバル



「わっしょい、わっしょい」。恩曾川沿いの水田地帯に、威勢のいい掛け声が響きます。市制60周年を前に、地域を盛り上げようと南毛利地区で開かれた大縄引き大会です。

「南毛利の恩名の地名は『大縄』に由来するといわれている。大縄で住民同士の絆を深めたいと考えた」と話すのは、実行委員長の小瀬村泰久さん(74・温水)。地域の仲間たちと場所の選定や参加の呼び掛けなど、準備を進めてきました。

当日は、応援を含め1000人を超える住民が参加。70mの縄

を使った地区対抗の部と子どもの部では、歯を食いしばり縄を引き合う姿に大きな声援が送られました。最後には、全長140mの大縄をみんなで引き、和気あいあいとイベントを締めくくりました。

小瀬村さんは「こんなにたくさんの人に来てもらえるとは思わなかった。地域の新しい伝統にしていきたい」と表情をほころばせます。市内各地で開かれている地域の特色を生かしたイベントが、住民同士の交流を促し地域の絆を深めています。



「恩名」の由来…地域にあった神社の祭りで、村人が大縄を用いご神体を乗せた牛車を引いていた参道が「大縄手」と呼ばれていたことから、オウナ、オンナになったといわれている。

☎南毛利公民館 ☎225-2559

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)相鉄エージェンシー ☎045-450-1804へ。